

指導と評価の計画(全10時間)

単位時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
指導内容	<p>技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。また、器械運動の学習に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p>										
	【技能】	<p>技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを組み合わせることができるようにする。</p>									
	【態度】	<p>器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>									
	【知識、思考・判断】	<p>器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p>									
ねらい	<p><内容1~3>【活動1~4】 ・学習のねらいや計画、約束を理解しよう。 ・器械運動の特性や成り立ち、関連して高まる体力を理解しよう。(知①) ・自分やグループの役割を理解し、責任感を持って積極的に取り組もう。(関③) ・関連して高まる体力を理解しよう。(知③) ・主運動へつなげる動き作りや、技の準備運動を楽しもう。</p>		<p><内容4~14>【活動5~13】 ・基本的な技の中から、今の自分にできる技、できそうな技を確かめよう。 ・技の分類と基本的な技の名称、運動局面での技術的なポイントを理解しよう。(知②) ・基本的な技の中から、自分にできる技を選び、滑らかな「回り」に取り組もう。(技①) ・基本的な技の中から、自分にできる技を選び、滑らかな「回転」に取り組もう。(技②) ・自他の演技について、「合理的な動き」を見付けよう。(思①) ・学習した技から構成に適切な技の組み合わせを見付けよう。(思②)</p>			<p><内容15~24>【活動14~24】 ・基本的な技の構成の出来映えを向上させよう。基本的な技の中から、自分にできる技を選び、「条件を変えた技」滑らかな「静止」に取り組もう。(技③) ・技ができる楽しさや喜びを味わい、よりよくできるように積極的に取り組もう。(関①) ・仲間の演技や技を認め合い、補助や助言、声かけを積極的にに行い、意欲的に取り組もう。(関②) ・発表会に向けて、「合理的な動きのポイント」「技の構成」「仲間の演技を向上させるための指摘」を行おう。(思③)</p>			<p><内容25~28>【活動25~28】 ・構成した技(「はじめ-なか-おわり」)を学習の成果として、精一杯の発表と観察、仲間の努力を讃えよう。</p>		
共通メニュー	<p>1 器械・器具・用具の準備及び場の設定 2 集合・黙想・号令 3 体の状態を報告 4 体づくり運動(①マット運動への動き作り ②仲間との交流 ③主運動につなげるための運動) 体づくり運動の内容…ゆりかご 補助倒立 腕抜き 馬跳びくぐり 条件付き動物走り ウサギ跳び だるま回り 正座から立ち上がり ブリッジ バランス立ち 腕立て伏臥ジャンプ</p>										
学習の流れ	1 オリエンテーション	1 役割分担の意味と意義	1 技の分類と基本的な技の名称	1 基本的な技の「滑らかな回り」	1 基本的な技の「滑らかな回転」	1 基本的な技の「滑らかな静止」	1 「条件を変えた技」への挑戦と構成の変化	1 プレ発表会に向けての練習	1 まとめ発表会 その1	1 まとめ発表会 その2	
	・学習のねらい ・計画 ・約束 ・事前アンケートの結果から、個と集団の課題を提示 →目標設定へ ・授業の流れ	・個とグループの役割分担の明確化 ・責任感 ・声かけ ・積極的な動き作り	・系、技群、グループの分類と、「基本的な技」の名称 2 「できる技」「できそうな技」 ・師範演技の映像やワークシートの資料から選び、取り組む ・練習の際に、ビデオ撮影を行い、次の活動につなげる ・撮影した映像を、10時間目の演技の出来映えと比較する	・その技に求められる動きが途切れずに続けられる ・繰り返しの練習の際にビデオ撮影を行いながら、自己の演技を確かめる。 ・「ペア」での活動場面を設定し、お互いの演技の気づきを伝え合う。	・その技に求められる動きが途切れずに続けられる 2 「基本的な技」の構成 ・ここまで学習した技(できる技)の中から、「はじめ-なか-おわり」などの構成に適した技の組み合わせを見付ける ☆組み合わせのポイント ・「滑らかさ」 ・「合理的な動き」 ・「開始姿勢と終末姿勢」	・その技に求められる動きが途切れずに続けられる 2 技術向上の可能性 ・自他の技に対する課題について、意欲的、積極的に取り組むこと、技術が向上する可能性があること	・その技に求められる動きが途切れずに続けられる 2 集団演技に向けてのミーティング ・個の演技から「ペア」→「トリオ」→「グループ」での演技を試案する ☆お互いの技能・体力の程度に適した構成 ・マットの設置位置 ・演技の進行方向 ・BGM等	・基本的な技に適した構成、合理的な動き、観察、「伝え合い」 →思考・判断に関する既習事項を、さらに活用し、練習に取り組む ・ワークシート及びICT機器を用いての活動 ・回転系、巧技系の基本的な技を滑らかにする練習 ・技の組み合わせに変化をもたせる →既習事項を整理しながら取り組む ・学習形態を「ペア」「トリオ」「グループ」と変化させ、指摘し合える場の設定 →演技の出来映えの向上を図る	・その技に求められる動きが途切れずに続けられる ・「はじめ-なか-おわり」などの構成に適した技の組み合わせ ○個人(3種類) ○ペア(2種類) ○グループ(3種類)	・最後の演技を精一杯行い、お互いの頑張りを認め合える活動にする 2 劇的ビフォーアフターShow ・3時間目に撮影した演技と、9時間目に撮影した演技の比較	
	・ワークシートの活用方法 ・ICT機器による分析方法 ・個の目標設定 ・グループでの目標設定 ・マット、その他の授業道具・用具・器具等の準備方法及び分担	2 動き作り ・3人組 ゆりかご 補助倒立 ・2人組 腕抜き 馬跳びくぐり ・1人 条件付き動物走り ウサギ跳び だるま回り 正座から立ち上がり ブリッジ バランス立ち 腕立て伏臥ジャンプ	3 技の技術的なポイントを理解する ・技には運動局面でのポイントがあること ・ワークシートや撮影演技やした師範VTRで比較しながら説明	2 合理的な動きのポイントを見付ける ・どうすれば滑らかな演技になるのかを考えながら取り組む ・「途切れる動き」と「続ける動き」とを比較する →「グループ」での活動とする。	3 観察場面での指摘 ・仲間の演技について「良い点」「改善点」を伝え合う ・「なぜ良いのか」「なぜ改善が必要なのか」を明確にする	3 努力への賞賛 ・具体的な名称、技術的なポイントを伝え、課題解決、技術向上に対する姿勢	3 集団演技に向けての練習 ・思案したグループ演技についての反復練習 ・他のペアやグループの活動場面を観察し、自分たちの演技の参考にすると共に、「良い点」を伝え合う	・ワークシート及びICT機器を用いての活動 ・観察の視点を明確にする ・発表を全体で観察する ・気づき等を既習事項を基に発表し、全体で交流する →ワークシート、ICT機器の活用	・観察の視点を明確にし、「よい点」「改善点」を記入しながら観察 ・ビデオ撮影を行い、単元のまとめの時間で視聴する	・個人演技について、ビデオで演技を視聴しながら技の質的变化、感想等をワークシートに学習のまとめを記入する。 ・ビデオ視聴の際の観察の視点は、既習事項を活用できるようにワークシートを活用する	
	2 器械運動の特性や成り立ち	3 関連して高まる体力	4 技術的なポイントを意識した練習	3 まとめ	4 まとめ	4 まとめ	4 まとめ	2 プレ発表会	2 ミーティング	3 まとめ	3 まとめ
	・器械運動の構成 ・多くの「技」 ・技の出来映えを競う ・オリンピックでは「体操競技」	・事前アンケートの結果 ・新体力テストとの関連を図る	・前活動で習得した知識を練習場面で活用できるように、「ペア」「トリオ」での活動を設定し、お互いの演技についての気づきを伝え合う	・ワークシートを活用し、メモをとりながら観察(例)開始姿勢 着手位置 回転スピード 膝 肘 首 演技の大きさ等	・「滑らかな回り・回転・静止」と「合理的な動き」の各ポイントを押さえる ・次時の見通し	・「個人」で構成 ・「ペア」で練習 ・「グループ」で観察	・構成した技の反復練習その2 ・ワークシートの活用	・発表会を終えての感想をシェアする	・気づき、感想等を発表する →「ペア」→「グループ」 ・授業形態：一斉	・ワークシートにまとめた内容をグループで交流する ・代表者による発表	・ワークシートにまとめた内容をグループで交流する ・代表者による発表
4 まとめ	4 まとめ	5 まとめ	4 まとめ	4 まとめ	4 まとめ	4 まとめ	3 プレ発表会	3 まとめ	3 まとめ	3 まとめ	
・ワークシートへの記載事項を指示し、次時の見通しを持たせる	・動き作りの成果と課題 ・マット運動へつなげるためのポイント	・できる技、できそうな技についての運動局面でのポイント等の確認	・「ペア」での練習を通して、お互いの演技について指摘し合う	・技の構成と「滑らかな技」との関連性について ・出来映えの向上に向けて	・「ペア」で構成 ・「ペア」で練習 ・「グループ」で観察	・構成した技の反復練習その2 ・ワークシートの活用	・発表会を終えての感想をシェアする	・気づき、感想等を発表する →「ペア」→「グループ」 ・授業形態：一斉	・ワークシートにまとめた内容をグループで交流する ・代表者による発表	・ワークシートにまとめた内容をグループで交流する ・代表者による発表	
運動への関心・意欲・態度			③						①	②	
運動についての思考・判断	1・2・3時間目に評価した「知識・理解①②③」については、実現状況を判断するテストとして、定期試験での評価も行う。										
運動の技能				①	②	①②	②③	③			
運動についての知識・理解	①	③	②								
評価方法	ワークシート	ワークシート	ワークシート	観察・ワークシート	観察・ワークシート	観察	観察	観察・ワークシート	観察	観察	